Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第38回（6/4）　岩間厚志先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

増補 iPS細胞 世紀の発見が医療を変える

著者：八代嘉美　出版社：平凡社
コメント：iPS細胞ができるまでの経緯とその細胞の
今後の可能性をわかりやすくまとめてあります。
特にiPS細胞の樹立に至るまでの時代的背景が
読み物としても面白いです。

Book2

生物と無生物のあいだ

著者：福岡伸一　出版社：講談社
コメント：分子生物学者である筆者が書いた良質なエッセイ。
生命観を根本的に変えることとなったDNAの構造解明という
エポックメイキングな出来事の時代考証などを通して、
科学者たちの人間像が浮かび上がってくる。
科学者というものをちょっと覗いてみたい方にはおすすめ。

Book3

言魂

著者：石牟礼道子ほか　出版社：藤原書店
コメント：今回の話題には関連しませんが、私が好きな一冊。
「苦海浄土」の作者で水俣病について書き続ける
石牟礼道子さんと、千葉大学が生んだ世界的免疫学者で
能作者、昨年亡くなられた多田富雄さんとの往復書簡。
死期を悟りながら懸命に生き続けるお二人の言葉が
心にしみます。